

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1270500521		
法人名	有限会社 暮らしの里		
事業所名	グループホーム暮らしの里		
所在地	千葉県千葉市緑区大膳野町4-141		
自己評価作成日	平成23年2月8日	評価結果市町村受理日	平成23年4月25日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://kaigo.chibakenshakyō.com/kaigosip/Top.do
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人VAICコミュニティケア研究所		
所在地	千葉県千葉市中央区千葉港4-4 千葉県労働者福祉センター5階		
訪問調査日	平成23年3月2日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<ul style="list-style-type: none"> ・家庭的で穏やかな日々を送ることが出来る、環境作りに努めています。 ・その人の持っている現状維持の保持に努めています。
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

<p>入居者や家族、職員、地域住民から管理者は「おかあさん」と呼ばれ、親しみある関係を構築し「あたたかみのあるもう一つの我が家」を実現している。管理者は永年看護現場の経験があり、オーナーが医師という医療連携に恵まれたホームである。昨年度の外部評価で掲げた目標達成計画に真摯に取り組み、全ての項目に改善がみられた。月一回のミーティングや内部研修勉強会には休暇の職員も自発的に参加し、その内容についてのレポートを全職員が提出している。入居者及び家族の希望、要望を叶えようと言う職員の姿勢と意識の高さが伺えた。食事においても「おふくろの味」「おいしい」「顔の血行が良くなった」など、自然に各テーブルから入居者の声が聞こえてくる暖かいホームである。</p>
--

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	事業所の理念は全職員が理解勤務に取り組んでいます。	「あたたかみのあるもうひとつの我が家でありたいと思います。」という分かりやすい理念を掲げ、管理者が中心となり、理念の実践を心がけている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	散歩時での地域の人との言葉かけやゴミ出しや回覧板等の用事はなるべく入居者を変え交流出来るように努めています。	日常の生活の中で、散歩時の挨拶、ゴミ出し、回覧板の受け渡しなど、入居者が地域の一員として交流出来ている。ホームの近くに住む職員が多く、地域情報が自然に集められ、地域の活動状況が把握できている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	内部研修にて全職員が認知症について学ぶ場を設け理解し支援できるように努めています。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は実施しており良い意見等があれば日々の中で取り入れていくよう努めています。	運営推進会議は4カ月に1度実施されている。入居者家族代表、自治会長、民生委員、地域包括支援センター職員、入居者、職員が参加し、ホームの状況説明と意見交換がされている。入居者本人から「事前に資料をもらって、考えてから出席したい」という意見が出るなど、認知症ケアにも効果があると思われる場面も記録から確認できた。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	民生委員さんや地域包括支援センターの方とは日頃より関係をつくりいつでも協力していただけるような関係であると思っています。	地域包括支援センターとの連絡は密にとり、運営推進会議にも出席してもらっている。介護相談員に訪問してもらったり、後見人を立てる必要がある場合など、その都度、市町村担当者とは連携を取っている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	玄関施錠においては完全には確立されていないが希望時や時間を見て外へ行く機会を設けています。その他の身体拘束については行っていません。	研修により職員のレベルアップを図っており、職員が言葉の拘束も含め拘束をしないという意識を高めるなどして、身体拘束をしないケアを実践している。玄関の施錠については職員配置状況や入居者状況を考慮しながら、解錠するようにしている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	当グループホームにおいて虐待はないと思っていますが日々の中での職員の言葉使い等気がついた時にはその場でその方へ直接注意をしています。		

【評価機関】

特定非営利活動法人VAICコミュニティケア研究所

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	本人、家族に相談を受けた場合は必要な限り協力、支援しています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入所前に家族、本人に当ホームを見学していただいています。入所時には十分な説明を行っています。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族面会時には事務所等にて近況報告をさせてもらっています。いつでもご意見等と言っていただけるような関係は出来ていると思っています。又職員も何かあった時にはすぐに報告するように指導しています。	入居者、家族の意見を直ぐに反映しようとする姿勢が記録等から確認できた。入居者及び家族の希望、要望を叶える取り組みには、職員が自ら率先して行動している。外部への苦情等の申し立て方法として3つの機関を重要事項説明書の記載し説明している。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月1回のミーティング時に職員からの意見の場を設けています。その他でもいつでも何かあった時には報告するように指導しています。	意見が出やすい、風通しのよい組織体質が醸成されている。月1回のミーティングや朝礼などの定期的な機会と、日常における様々な場面で職員の意見を吸い上げ、直ぐに運営に反映する組織運営は優れている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	全職員が気持ちよく勤務できるように各個人が持ち味を生かして勤務できるよう努めています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	毎朝ミーティング、月1回ミーティング実施し質問意見はその場で気軽に相談話し合いをしています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	研修会への参加時、同業、他社と情報意見交換を行っています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	当ホームを良く見ていただきお試し入所で実感していただくと共に入居者や家族の方とも良く話し合っています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入所前には当ホームを必ず見学していただいてその時点で不安や要望を聞きお試し入所、本入所へとつなげています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	当ホームの支援が適切か否かを良く見極め否の場合には他のサービス利用を含めて対応しています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	入居者様は人生の先輩でもあり尊重する気持ちを念頭において仕事に携わっています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族の方がいらしたときには事務所にて近況報告をしています。又希望があれば出来る限り受け入れるよう話し合いをしています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	以前入居者と関係のあった方が面会にきて下さったり遠方の方からは電話が来たりしています。希望時には電話を自由にかけいただき関係が途切れないように努めています。	馴染みの人や場との関係継続支援は、家族の協力を得ることで実現している。限られた時間と職員数でホームとして支援できること、家族とのコミュニケーションにより実現出来ることへの支援を考えて、実施している。遠方からの人への配慮もしている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ほとんどの入居者は日々フロアにて過ごすことが多く孤立する方はいません。なるべく職員が関わる時間をもち入居者との交流の場を設けています。		

【評価機関】

特定非営利活動法人VAICコミュニティケア研究所

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	必要事項は報告し相談時には積極的に対応するように心がけています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	アセスメント時に本人の意向を聞いたり現状の状態を維持していけるようミーティング時に話し合いをしています。	職員は日頃から休憩時に入居者とともに過ごしている。そのゆったりとした時間のなかで、入居者の思いを汲み取ることも多いと見受けられた。把握した入居者の思いや意向は、ミーティング等を通して職員間で共有されている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	生活歴は個々に違うが出来るだけその方にあった生活が維持出来るよう支援しています。本人や、家族の方にも話を聞いたりしています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	入居者のペースを大切にしながらその方にあった方法で現状維持が出来るよう支援しています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	入居者への気づきや意見等その方にあった方法を見つけプランにつなげるようミーティング時に話し合いをしています。	入居者一人ひとりにすべての職員がしっかり向き合い、関わっている。ミーティングでの活発な意見交換や話し合い、また、面会時の家族との会話などを反映し、本人本位のケアプランを作成している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の記録を生活記録に残すよう申し伝えています。又ケアプランをいつでも見られるように情報の共有化に努めています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	家族訪問時には事務所等にて近況報告し家族の相談等に応じ対応しています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域のボランティアの方々が月2度訪問して皆さんを楽しませて下さっています。散歩時に会った近所の方との交流も大切に感じています。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	主治医が協力して下さるのでほとんど他科受診される方はいませんが希望があれば専門の病院へ行っていただくこともあります。	ホームの母体病院の医師が主治医となっていて、週に2回の往診をはじめ、24時間365日体制で対応している。必要に応じて専門病院への受診も支援しており、迅速な対応で入居者の病気を早期に発見した事例もある。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	施設長が看護師で主治医が週2回来て下さるので入居者の心身状態についてはすべて把握していただいています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	家族希望時には入院して頂いています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	主治医が専門医であり具合が悪化したとき等に家族と話し合い主治医にも報告し協力を得ています。	入居時に終末期の方針を説明し、本人・家族・職員間でそれを共有している。そして、入居者が重度化したときには、状況を見ながら家族と話し合いを重ね、主治医、看護師である管理者を中心に、必要な支援をしている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	ミーティング時には急変時の対応や連絡方法を申し伝えています。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	火災通報装置の使用法や消火器、スプリンクラー等設備の確認等定期的に消防署の方に来て頂き指導してもらっています。	消防署の指導のもと、年に2回、入居者全員で防災訓練を行っている。2階ベランダから1階の庭に避難できる滑り台、スプリンクラー、IHコンロ等の設置もなされている。非常時には駆けつけてくれるような、地域との協力体制も構築されている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	人生の先輩でもある事をいつも念頭において、その人その人に合ったわかり易い言葉で接しています。	入居者を人生の先輩として敬う気持ちが職員の間で自然に共有されている。温かく、親しみのある言葉かけや対応のなかに、入居者の人格を尊重した心づかいがうかがえた。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日々関わっている中でその方の希望や困っている事を聞き対応している。その方に合った分かり 易い方法で行っています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	何事においても入居者優先にする事をいつも念頭において決して自分達のペースで動く事のないようにしています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	希望時にはその方が望む美容室や床屋にお連れしています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の下準備や、週1回の買出しには入居者と一緒に買い物へ行き、出来るだけ好み等を聞きメニューに取り入れています。	食卓には、ホームの庭でとれた野菜を使った料理が並び、入居者と職員と一緒に食事を楽しんでいる。管理者が自宅で作ったおかずやおやつをみんなで食べることも多い。「おいしいね」という入居者の声が聞こえる温かい食事風景であった。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事チェック表にて、栄養バランス量の確認をしています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後の口腔ケアの実施とその方によっては磨き残しがないようスタッフが最後に確認手助けする事もあります。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	入居者一人一人に合わせて出来る限りトイレでの排泄が出来るように誘導を心掛けています。	排泄チェック表をもとに、一人ひとりのタイミングを把握しトイレ誘導を行っており、昼間はおむつを使用する入居者はいない。夜間も声かけをしてトイレでの排泄を支援している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	1日2回ラジオ体操・リハビリ体操に実施、散歩等へ行き出来るだけ体を動かすような配慮をしている。食事形態はその方に合わせた調理方法を工夫しています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	入居者のペースに合わせて無理なくゆっくり入浴出来るよう入浴時間は十分に確保しています。	入浴は午後の時間帯をあてているが、一人ひとりの希望やタイミング、ペースに合わせて、ゆっくり入浴を楽しめるように支援している。失禁したときや夏場は、臨機応変にシャワー浴も行っている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	その方の生活ペースに合わせて無理なく過して頂いています。冷暖房の調節や寝具の調達も行い、快適に過ごしてもらえるように配慮しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬担当者は服薬する際入居者の名前を読み入居者の前で再度名前の確認をし必ず服薬確認をしています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	その方の残存能力を最大限に生かせるように日々の関わりの中で方法を見つけ話し合い実行しています。家族の方の希望も聞き入れ現状維持の保持に努めています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	家族の方にも協力、了解を得ながら外食に連れて行っています。	ふだんはホームのまわりを散歩したり、希望に応じて、個別に買い物に出かけたりしている。2カ月に1度は入居者のほとんどが外食に出かけており、まず、ビールで乾杯し、それぞれ好きなメニューを選んで外での食事を楽しんでいる。暖かくなったら、外にでる機会をより増やしたいと考えている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭管理が出来る方においては本人に預け買い物等も職員同行のも説いていただいています。金銭管理の困難な方は家族からおこづかいを預かり職員が管理しています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望時には職員付き添いにて自由に電話をしていただいています。手紙のやりとりを楽しみにされている方もいます。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	皆さんに満足していただいていると思っております。日頃より明るい家庭的な雰囲気づくりに努めています。	温度や湿度、光に配慮された広々と明るいリビングには、テーブルや椅子、ソファが程良い間隔でゆったりと置かれ、壁には折々の入居者の表情を生き生きととらえた写真が飾られている。調査当日は、畳のスペースに雛壇が飾られていた。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	日中は入居者皆さんがフロアーにて過ごされている事が多く冬場には畳のスペースにこたつを置き家庭にいるような感覚で過ごせるよう環境づくりに努めています。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	以前自宅で使用していた馴染みのあるものを持ってきていただいています。カーテンは防災用をお願いしています。	入居前から使っていた筆筒や鏡台、また、仏壇、家族の写真など馴染みのもの、大切な品が持ち込まれ、その人らしい居心地のよい居室となっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	その方に合った方法で自立支援に努めています。		